

児童・生徒に望ましい勤労観、職業観をはぐくむキャリア教育

<p>社会の変化と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○求職希望者と求人希望との不適合の拡大や雇用システムの変化 ○社会人、職業人としての基礎的資質・能力の発達の遅れ ○身体的な早熟傾向に比して、精神的・社会的自立が遅れる傾向 ○自立的な進路選択や将来計画が希薄なまま、進学、就職する者の増加

<p>政府の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「若者自立・挑戦のためのアクションプラン」(平成16年) ○「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン(改訂)」(平成18年) ○「キャリア教育推進プランー自分てつかもう自分の人生ー」(平成19年) ○「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(中央教育審議会答申 平成23年)
--

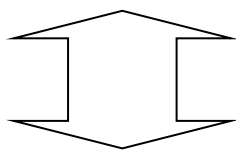
<p>審議会答申より</p> <p>若者個人のみの問題ではなく、社会を構成する各界が互いに役割を認識し、一体となり対応することが必要。</p> <p>その中で、学校教育は、重要な役割を果たすものであり、キャリア教育・職業教育を充実していかなければならない。</p>

<p>キャリア教育の定義 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(中央教育審議会答申 平成23年)</p> <p>一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育</p>
<p>学習指導要領での改訂のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力の伸長、創造力、職業との関連を重視 ・公共の精神、社会の形成に参画する態度の育成

〈学習指導要領における進路及び職業に関する主な記述〉 『学習指導要領』文科省(平成20年3月28日告示)

小学校学習指導要領(平成23年度全面実施)	
<p>総則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自己の生き方についての考えを深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、…道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。 ・各教科等の指導に当たっては、児童が学習課題や活動を選択したり、自らの将来について考えたりする機会を設けるなど工夫すること。 	
<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…計画的、発展的な指導によってこれを補充・深化・統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成するものとする。 ・(第1, 2学年)働くことの良さを感じて、みんなのために働く。 ・(第3, 4学年)働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。 ・(第5, 6学年)働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 	
<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 ・自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。 	
<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。 ・勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。 	

中学校学習指導要領(平成24年度全面実施)	
<p>総則</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…その際、特に生徒が自他の生命を尊重し、規律ある生活ができ、自分の将来を考え、法やきまりの意義の理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けるようにすることなどに配慮しなければならない。 ・生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行うこと。 	
<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…計画的、発展的な指導によってこれを補充・深化・統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成するものとする。 ・勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。 ・職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を生かすなど、生徒の発達や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うこと。 	
<p>総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 ・学習活動については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。 ・職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探求活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること。 	
<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・…集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。 ・勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職場体験などの職業や進路に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、ともに助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。 	



<p>キャリア教育専門部会 (小中学校校長、小中学校教員、産業振興課、教育委員)</p> <p>● 職場体験の充実 ● キャリア教育推進資料作成 ● 『わたしたちの進路—自分づくりの旅へ—』改訂</p>
--